

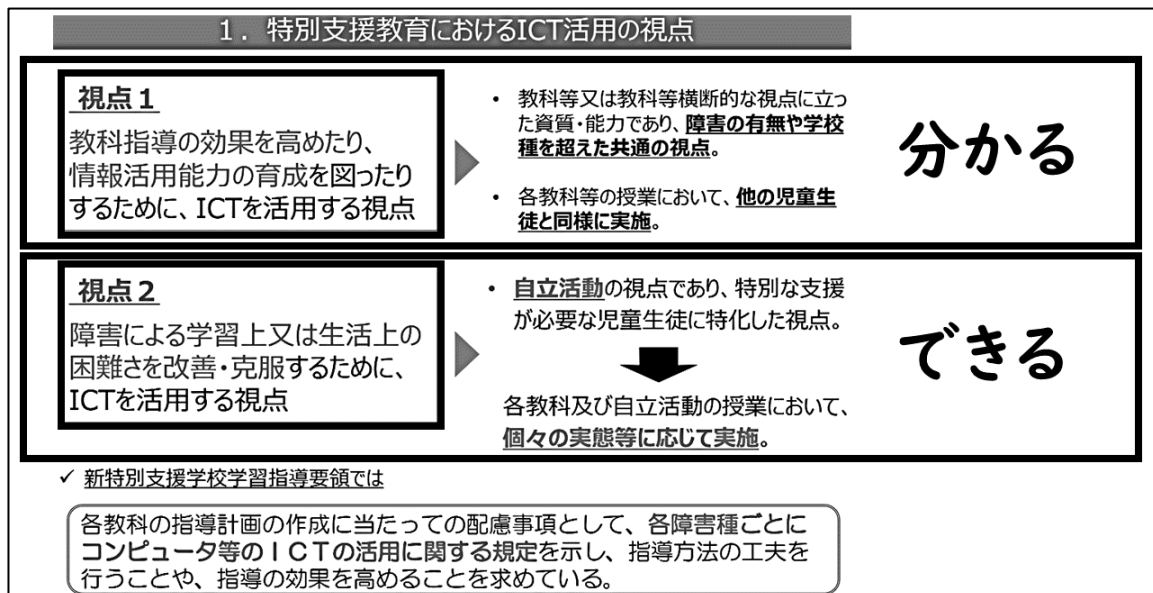


「1人1台端末を活用した授業改善」

本校では県教育委員会より「1人1台端末を活用した授業改善」の研究指定を受けています。令和4年度から取り組みを始め、2年目となります。今年度は主題として『1人1台端末を用いた「分かる」「できる」授業づくり～2つの視点を踏まえて～』を設定し、研究を進めています。

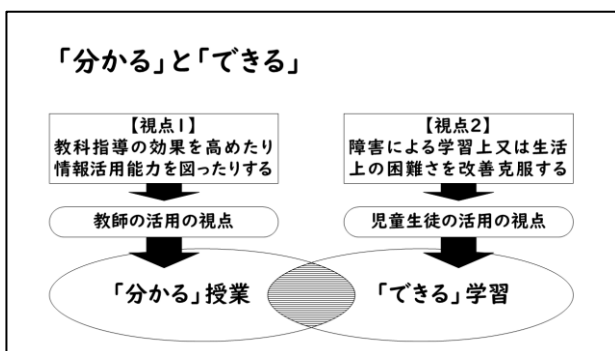
主題にある「2つの視点」とは、文部科学省発行の資料の中で示されている視点です。1つは、「**教科指導の効果を高めたり、情報活用能力の育成を図ったりする視点**」（視点1）であり、全ての学校で持つべき共通の視点とされています。もう1つは「**障害による学習上又は生活上の困難さを改善・克服する視点**」（視点2）であり、特に特別支援教育において持つべき視点とされています。これまでのICT活用推進教育において、教師によるパソコンやタブレット型端末等のICTの活用は日常的なものとなりました。一方で、児童生徒の障害による困難さを補うための手段としての活用には課題があります。

そこで今年度の研究では、文部科学省が示す2つの視点を「**児童生徒が分かる**」視点と「**児童生徒ができる**」視点としてとらえ、それぞれの視点での1人1台端末（ICT）を活用した授業づくりに取り組んでいます。



○特別支援教育におけるICTの活用について（文部科学省 2020）に追記

具体的には、これまで実施した授業での教師の手立てや児童生徒の様子を2つの視点から振り返り、振り返りをもとにして、より授業や学習の目標を達成できるような1人1台端末（ICT）を効果的に用いた授業づくりを進めています。



令和5年度 佐賀県教育委員会「1人1台端末を活用した授業改善」			
ICT-1人1台端末活用に向けた授業振り返りシート（□は該当箇所をチェックを記入またはクリック◎）			
校舎・学部	本校舎(□小 □中 □高) 分校舎(□小 □中 □高)	課程・学級	記入者
教科・領域		単元・題材	
振り返りの視点	視点1		
	視点2		
振り返りやその他の様子からの気づき(ここが難しいようだったなあ、こんな風にしたらいいなあ、こんな方法をやってみたらどうだろう、など)			
端末活用状況(複数選択可) □1人1台端末(Windows) □1人1台端末(iPadOS) □その他:			
アプリ/バージョン等			
(1) 視点1 教科指導の効果を高めたり、情報活用能力の育成を図ったりする			
(2) 視点2 障害による学習上又は生活上の困難さを改善・克服する			

12月7日（木）には県内小中学校、特別支援学校を対象とした公開授業・授業研究会を予定しています。

2 【公開研修】夏のGIGAまつり

本校では、夏休みなどの長期休業を利用して、ICT活用に関する職員研修を実施しています。今年度は、研究の推進も兼ねて、全てを県内小中学校、特別支援学校への公開研修として行い、県内23校65名（うち17名は2日間全てのコマ）にご参加いただきました。本校職員による特別支援教育におけるICT活用に係る研修やアプリケーション演習の他、若楠療育園 金納広勝氏、長野県長野養護学校 青木高光氏を外部講師としてお迎えし、より専門性の高い知見からのお話を頂きました。限られた時間と内容の研修ではありましたが、これをきっかけに今後も県内の特別支援教育におけるICT活用について情報共有をしながら、よりよい方向へと進めていければと思います。講師をしていただきましたお二人を始め、ご参加いただいた皆様、猛暑の中本当にありがとうございました。



公開 夏のGIGAまつり	
令和5年 8月1日(火)・2日(水)	
【対象】 本校教職員 県内小・中特別支援学校教職員で特別支援教育でのICT活用に関心のある方	【場所】 中府特別支援学校 本館 プレイルーム3
1日(火)	
午前	① 9:00~9:50 【講義】 ICT教育支援部 「特別支援教育とICT～授業づくりと端末活用～」 ・特別支援教育におけるICT活用について、授業づくりの視点をお伝えしながら研修します。 ② 10:00~10:50 【演習】 ICT教育支援部 「DropTapでコミュニケーション支援」 ・コミュニケーションを支援するアプリについて「DropTap(ドロップタップ)」を例に研修します。 ③ 11:00~11:50 【演習】 ICT教育支援部 「入力支援練習って？」 ・日常生活における場面に応じた入力の支援方法について研修します。
午後	④ 14:00~16:00 【演習・演習】 若楠療育園 OT(作業療法士) 金納広勝氏 「意思決定支援とその実践～スイッチコントロール、視線入力装置導入へ～」
2日(水)	
午前	⑤ 9:00~9:50 【演習】 ICT教育支援部 「Kahoot!で楽しい教材づくり」 ・クイズ形式アプリ「Kahoot!」(クイズ)を使った、楽しい教材づくりを体験します。 ⑥ 10:00~10:50 【演習】 ICT教育支援部 「デジタルノートを使ってみよう」 ・最近よく聞かれる児童生徒の学習代替としても活用できる、デジタルノートアプリについて「GoodNotes(グッドノーツ)」を例に研修します。 ⑦ 11:00~11:50 【演習】 ICT教育支援部 「チャレンジ！プログラミング」 ・「Scratch」の基礎から「Scratch」の応用まで、Scratchの活用方法について研修します。
午後	⑧ 14:00~15:30 【オンライン講義】 長野県長野養護学校 教員 青木高光氏 「特別支援教育におけるICT活用」
内容・申込方法等詳細は2ページをご覧ください	



＊外部からご参加いただいた方々の声＊（表記は原文ママ）

- ・本校のICT推進研修でそのまま話したいような内容でした。【小中学校】
- ・わかりやすかったし、おもしろかったです。もっと聞きたかった。【特別支援学校】
- ・視点1「わかる」と視点2「できる」の考え方がよくわかりました。教師として自分を省みる点もあり、大変勉強になりました。ありがとうございました。【特別支援学校】
- ・DropTapの使い方を具体的に教えていただき、とても勉強になりました。早速使ってみたい…！と思ったのですが、佐賀市の一人一台端末（特支学級はiPad）には、後から好きなアプリをインストールすることができず…。まずは自前の端末で試してみようかなと思っています。アプリの使い方だけでなく、使う場面の例示や目的など、面白おかしく（誉め言葉です）学ぶことができ、とても有意義でした。ありがとうございました。【小中学校】
- ・子どもたちが楽しみながら学習できるようなツールをたくさん知ることが出来て良かったです。学習を支援する手立てを増やすことができると思います。【小中学校】
- ・デジタルノートを読み書き障害の児童に活用させる方法など、二学期すぐに試してみたい内容でした。【小中学校】
- ・意思決定、大事だと改めて感じました。それをできる環境を整えること、様々な方法でその方にあった決定方法を準備することがいかに必要か改めて考えさせられました。【特別支援学校】
- ・情報量が多く、難しい内容もありましたが、現在のタブレットの活用方法について改善点を数多く提示していただきました。教員同士での共有や、学校の環境改善につなげて行きたいと思います。【小中学校】
- ・ICTの活用に限らず、特別支援教育の考え方として「できること」から始める、主体的な活動を目指すという大切な話を聞かせていただいてとても勉強になりました。【特別支援学校】

＊学校 Web サイトでは、カラー版を掲載しています

© 2023 Saga Pref. Nakabaru Special Needs School